

砂山小学校 家庭学習の手引き

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は、欠かすことのできない「生きるための力」です。
学校では、「子どもが探求してつくりあげる算数」～表現し、関わり合い、学ぶ喜びを感じる授業づくり～を研究の柱として、3つの力（かく力・関わり合う力・活用する力）を育成する取り組みを進めています。家庭と協力することによりさらにその力が何倍にも高められます。

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるために、また自ら学ぶ習慣を身につけるためにとても大切なものです。お子さまと一緒にこの手引きをご活用いただき、勉強する場所の近くの目にとまるところに貼って学習意欲を喚起していただくとともに家庭学習の習慣化にご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。

1 家庭での学習を習慣化しよう

※ 家庭学習のさせ方

- ①担任から出る宿題を最初にさせてください。
- ②時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせてください。（5・6年生には自分で考えさせてもいいでしょう。）
- ③どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでも何でも構いませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

※ 時間のめやす

- ・低学年 15分から20分以上
- ・中学年 30分から40分以上
- ・高学年 50分から60分以上

※ 家庭学習における保護者の役割

- ①学習時間の確保
塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合って、無理のないように時間設定をしてください。
- ②学ぶための環境づくり
例えば、テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。
- ③見届け・励まし
子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。褒めたり励ましたりしてあげることで、お子さんはどんどんやる気を出します。1週間に1回は、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。
- ④学校との連携
お子さんの学習の様子は、どんな小さなことでも担任にお知らせください。

2 家庭学習の参考例（各学年共通）

- 国語 ・漢字練習 ・意味調べ ・視写 ・音読 ・言葉の使い方調べ
・日記 ・漢字テストで間違った漢字を覚える
- 算数 ・計算練習 ・百ます計算 ・テストで間違った問題をノートに写して解いてみる
- 社会・理科・総合
・勉強したことに関係がある事柄を本やホームページなどで調べまとめる
市販のドリルや問題集などに取り組んでみるのもいいでしょう。



3 各学年で身につけたい力

習慣づけの1年生

- ①ひらがな・カタカナの音音が読めて書ける。
- ②助詞（て・に・を・は）を適切に使い分けて文章が書ける。
- ③たし算・ひき算ができる。
- ④80字の配当漢字のすべてが読めて書ける。
- ⑤鉛筆を正しく持って字が書ける。

逃げない子にする2年生

- ①160字の配当漢字のすべてが読めて書ける。
- ②順序よくお話をすることができ。
- ③かけ算九九がすらすら言える。
- ④定規を使って筆算をきれいに書きながら計算できる。
- ⑤決められた長さの直線を正しく引ける。
- ⑥時計を正しく読める。

分岐点を乗り越える3年生

- ①200字の配当漢字のすべてが読めて書ける。
- ②簡単なことわざを知っている。
- ③上語と述語の意味がわかる。
- ④かけ算の筆算ができる。
- ⑤二桁÷一桁のわり算ができる。
- ⑥はかりを使って重さを調べることができる。

「9歳の壁」を破る4年生

- ①200字の配当漢字のすべてが読めて書ける。
- ②ローマ字を適切に読み書きできる。
- ③文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ④国語辞典・漢和辞典を正しく使える。
- ⑤わり算の筆算ができる。
- ⑥倍を使った文章題が正しく解ける。
- ⑦コンパスを使って簡単な図形がかけ。
- ⑧47都道府県の名前と位置がわかる。

天と地の差がつく5年生

- ①185字の配当漢字のすべてが読めて書ける。
- ②今まで習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③小数のかけ算・わり算ができる。
- ④分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥パソコンでローマ字入力ができる。

中学校生活に希望が持てる6年生

- ①小学校で習得すべき漢字のすべてが読めて書ける。（6年生は181字）
- ②小学校で習う漢字を使った熟語の8割を正しく書ける。
- ③歴史に残る古文のいくつかにふれ、暗唱できる。
- ④分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ⑤歴史上の事件や人物についてほしい説明できる。
- ⑥重要な年号を30程度覚える。
- ⑦日本国憲法の前文が暗唱できる。
- ⑧三権分立などの社会用語のほしい説明ができる。
- ⑨世界の主な国の位置を正しく示せる。
- ⑩理科の実験道具の正しい使い方を知る。
- ⑪パソコンで速くローマ字入力ができる。

4 生活の中で、見えない学力をつけよう

アイウエオ 読書は「見えない学力」を高めます。
国語辞典・漢和辞典その他の事典や図鑑類を身近において調べよう。
日本地図・世界地図を身近において調べよう。
地球儀をテレビの隣に置いて調べよう。
ニュース番組を親子で見て話し合おう。

カキクケコ 親子いっしょに新聞を読もう。
百人一首など詩歌の暗唱をしよう。
将棋や囲碁など頭を使うゲームをしよう。
自然や生き物とふれあい、詳しく観察しよう。
家の仕事をめんどろがらないでやろう。

小中学校の校では勉強を容え深くないたからで、校その分の基か本りになすいす。卒業生

学力向上は
家庭学習の習慣化から

